

センターだより



令和7年度 11月号

四天王寺悲田院 児童発達支援センター

子どもたちの目標



「規則的な生活と元気な体づくり」
「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
「自分のことは自分でする」
「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
「知らない所でもなじむことができる」
「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」

11月の予定

1日（土）おやすみ

3日（祝・月）おやすみ

5日（水）大阪880万人訓練 10:00～
※ゆきクラス・ほしクラスのみ参加

8日（土）おやすみ

15日（土）おやすみ

嵐店※申し込まれた方のみチケットをお渡し致します

17日（月）避難訓練（保育棟）

22日（土）おやすみ

24日（祝・月）おやすみ

29日（土）おやすみ

WAO保護者学習会（外部講師）

おしらせ

○実習生がきます

クラスに入りましたら、よろしくお願ひします。

11/17（月）～11/21（金）四天王寺大学（介護等体験） 2名



○嵐店について

今年は11月15日（土）に嵐店を行います。当日、児童発達支援センターの療育はお休みとなっておりますが、チケットを申込まれた方は屋台をお楽しみください。

詳細については、配信しております別紙おたよりをご覧ください。



○大阪880万人訓練について

「府民の防災意識向上」を目的に、平成24年から大阪府が開始しました。当日は大阪府域におられる方々の携帯電話などに「大津波警報の発表」を知らせる訓練用の「エリアメール/緊急速報メール」が配信されます。この機会に「災害時、どのように行動するか」ご家族で話してみられてはいかがでしょうか。

今年度は11月5日（水）10:00～実施されます。登園直後の時間帯でもありますので、ゆきクラス・ほしクラスのみ参加します。

○OWAO保護者学習会について

テーマ：「明るい未来につなぐ架け橋」～将来のために知っておきたい～

講師：訪問看護ステーション デューン松原

精神保健福祉士 西中正信 氏

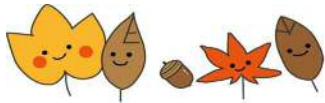
日時：11月29日（土）14時30分～15時30分

場所：悲田院児童発達支援センター 保育棟ホール

※保護者学習会への園児及びきょうだい児の参加はご遠慮ください。

詳細は10/20に配信しましたお知らせをご確認ください。





それぞれの進路へ

訪問支援員・作業療法士 松井

今年度も半年を過ぎ、来年度の“進路”を考える時期となり、それぞれの焦りを感じられる方も多いのではないでしょうか。今回は、保育園・幼稚園・こども園（以下地域の園）・学校、それぞれのお子さんの進路に向けた準備というテーマで、捉えておくべきポイント、よくご相談いただく内容への対応方法を挙げてみました。

○センターとの違い

退園して地域の園に進まれた保護者の方から「センターと違って関わってもらっていない」と聞くことがあります。地域の園にはそれぞれ独自の特色があります。一見すると関わりが少ないと感じられるかもしれません、お子さんの自分からしようとする行動（主体性）を大切に、先に誘いかけるよりも見守りを大切にされているのかもしれません。センターでは個々に合わせた環境設定を行いながらお子さんに合わせた遊びの中で個別の発達を支援しています。地域の園では集団生活・集団活動から一人ひとりの成長や学びを育んでいます。就学する学び方が根本的に変わり、学校では主体性よりも決められたカリキュラムに沿った活動の中での学びが中心となります。小学校では義務教育の基礎としての教科指導・学校生活・集団行動、支援学校では自立し社会参加できる力を身に付けることを重視した学習指導が主軸となります。

このようにそれに独自の特色があるため、関わり方や提供内容も少しずつ異なります。地域の園や学校が大切にしている方針や考え方を踏まえてお子さんの様子を聞いたり、先生とお話をしていくことが大切だと感じています。



○「できないといけない」ではなくてまずは経験を

「退園するまでにお箸を持つようにならないと・・・」「着替えが一人でできないと幼稚園では取り組んでもらえない・・・」などのお話を聞くことがあります。○○ができなければいけないという事ではなく、進路先へまずは相談することが大切だと考えています。地域の園・学校によって対応はさまざまです。例えば食事であれば、現在使っている補助箸を持参することは可能なのか、食事準備にはどのような工程があるのか…給食袋、ナプキンなど使う物品等、詳しく情報を得ることから始めてみてください。また、今からできることは事前に経験しておくことも大切な準備になります。お子さんにとってはじめてのもの、今までよりも手順が多くなるので、できるだけ経験をさせてあげましょう。

○お子さんの進路をナビゲートするのは「保護者の皆さん」

新たな進路を選ばれた保護者の皆さんには、対応を進路先の先生と話し合いながら進めていく“決心”が必要だと感じます。選ばれた進路先でお子さんが安心して過ごせるよう環境を整えてあげることがナビゲートになります。お子さんに関わる先生にお子さんの事を知ってもらう どのような場所でどのような活動をするのかの見通しを立ててあげることもナビゲートになります。

“決心”と言われても自信がない・・と思われる方もいらっしゃると思います。そのような時は、お子さんの事を説明するための準備、対応のバリエーションなどについてぜひ一緒に考えさせてください。保護者の皆さんのが焦りや不安を持っていると、新たな環境を知らないお子さんにとってはもっと不安に感じるものです。新たな進路に向けた準備を進めることで、少しでも不安が軽減できるお手伝いができれば幸いです。いつでもお気軽にご相談くださいね。



参考文献：1) 保育・学校生活の作業療法サポートガイド
2) 小1 PROBLEM Hand Book